

◇ハイパーネットワーク

◇ワークショップ2025◇

量子ビジネスの 最前線とその未来

-量子コンピュータ 量子センサ 量子暗号-

◇プログラム◇

2025年3月6日（木）@国際会議場（3階）

受付開始 (12:00~)

オープニング・挨拶 (13:00~13:10)

ハイパーネットワークワークショップ実行委員会委員長 青木 栄二
(公財)ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎

登壇者紹介 (13:10~13:20)

セッション1「量子コンピュータ最新動向」(13:20~14:00)

blueqat株式会社CEO 湊 雄一郎

OQC株式会社 カントリーマネージャー 杉野 敦

セッション2「量子コンピュータの活用と人材育成」(14:00~15:30)

日本電気株式会社 セキュアシステムフラットフォーム研究所 ディレクター 白根 昌之
大分大学工学部 教授 高見 利也

慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 兼 理工学研究科 特任教授 友野 孝夫

blueqat株式会社CEO 湊 雄一郎

株式会社長大 クオントム推進部部長 高野 秀隆

TOPPANデジタル株式会社 中川 理夢

日本量子コンピューティング協会 事務局長 寺園 諒雅

休憩 (15:30~15:40)

セッション3「量子センサ、量子暗号の可能性」(15:40~16:50)

blueqat株式会社CEO 湊 雄一郎

慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 兼 理工学研究科 特任教授 友野 孝夫

クロージング (16:50~17:00)

情報交換会 (18:00~20:00) @リハーサル室（地下1階）

2025年3月7日（金）

ワークショップセッション (10:00~12:00)

○ゲート式のプログラミング講座（対象者：ITエンジニア等）@小会議室31

DEVEL株式会社 代表取締役 比嘉 恵一朗

○量子コンピュータ活用に向けた事例検討 @小会議室33

会場：別府国際コンベンションセンター（B-Con Plaza）

主催：ハイパーネットワークワークショップ実行委員会

（大分県、NTT西日本、日本電気株式会社、富士通Japan株式会社、（公財）ハイパーネットワーク社会研究所）

協力：オオイタ・クオントム・コミュニティ、おむいたAIテクノロジーセンター

登壇者プロフィール



blueqat 株式会社CEO 湊 雄一郎 氏
東京都生まれ。東京大学工学部卒業。
隈研吾建築都市設計事務所を経て、2008年にMDR（現blueqat）株式会社設立。
2015年総務省異能vation最終採択、2017～19年内閣府ImPACT山本プロジェクトPM補佐、2019～2021年文科省さきがけ量子情報領域アドバイザー、2022年～SEMI量子コンピュータ協議会委員長を務める。最近の研究テーマは深層学習・量子機械学習・テンソルネットワーク・テンソル分解など。



**株式会社社長大
クオンタム推進部部長 高野 秀隆 氏**
1995年千葉大学大学院修了。1996年から都市計画や不動産業界、IT企業創業を経験。2020年より（株）長大で量子技術による新規事業企画を担当。2021年にクオンタムシティプロジェクトを開始し、東北大学量子セミナーで「京セラ賞」を受賞。2022年に（株）長大クオンタム推進部部長、東北大学特任准教授、G-STARクオンタムシティ推進部会長就任。2023年に（一社）日本量子コンピューティング協会代表理事就任。



**日本電気株式会社
セキュアシステムプラットフォーム研究所
ディレクター 白根 昌之 氏**
1998年 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻修士課程修了、同年 日本電気株式会社(NEC)に入社し、中央研究所に配属。以来、超高速光信号処理用デバイス、赤外線センサ、量子情報用要デバイスの研究開発に従事。2004年より1年間 スタンフォード大学客員研究員、2015年より3年間 同社宇宙システム事業部にて人工衛星搭載用センサ開発に従事。2018年より量子コンピューティング技術をはじめとする量子技術の研究マネジメントに従事、現在は同社セキュアシステムプラットフォーム研究所ディレクター。2019年よりNEC-産総研量子活用テクノロジー-連携研究ラボ長を兼務。



**TOPPANデジタル株式会社
技術戦略センター
量子技術戦略部 中川 理夢 氏**
2021年より、量子技術の研究・開発推進、新規事業創出支援を担当。これまで、量子アニーリングを活用した物流業務の効率化の実証実験などに携わる。オフィシャルブログ「TOPPAN Digital DX note」にて、耐量子計算機暗号、量子化学計算、量子ゲームの記事を執筆。最近では、量子コンピュータを計算化学に活用し、材料開発・評価に有用な計算手法の開発を目指して研究を実施中。



大分大学工学部 教授 高見 利也 氏
兵庫県生まれ。京都大学理学部卒業。博士（理学）。分子科学研究所電子計算機センター(1994年～)、九州大学情報基盤研究開発センター(2004年～)では、量子物理・量子化学と高性能計算分野の研究。2016年より大分大学にて、計算機応用・人工知能の分野で学生を指導するとともに、自身のテーマとして群れの動力学についての研究を実施中。大学院生向けには、量子コンピュータに関する授業を担当している。



**DEVEL 株式会社
代表取締役 比嘉 恵一朗 氏**
1996年福岡県北九州市生まれ。九州大学数理学府修士課程を修了。在学中に量子コンピュータに興味を持ち、2021年に北九州市で量子コンピュータのアルゴリズム研究およびソフトウェア開発を行うDEVEL株式会社を設立。DEVELでは量子アニーリングと量子ゲートそれぞれのデバイスを用いたソフトウェア開発の実績を持つ。また、NEDOの事業の一環として「量子・AI ハイブリッドの基礎を学ぶセミナー」にも関わり、一部の講義を担当。また、DEVELは一般社団法人量子コンピューティング協会の正会員であり、講座の作成や試験の提供も行っている。著書に『IBM Quantumで学ぶ量子コンピュータ』がある。



**慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科
兼 理工学研究科 特任教授 友野 孝夫 氏**
筑波大学卒業後、シャープ、富士ゼロックス、Samsung電子、そして凸版印刷の民間企業を経て、2023年12月より慶応義塾大学に勤務。民間企業では光・半導体デバイス、微細加工の研究開発、コンピュータビジョンの研究などに従事。複数の開発品の商品化を達成。学位は富士ゼロックス勤務中に論文による博士号を取得（分野：量子光学）。現在は大学で社会実装を目指した量子AIおよび量子光通信の研究に従事。これらの研究はCOI-NEXT: サステナブル量子AI研究拠点、NEDO:量子・AIハイブリッド技術のサイバー・フィジカル開発事業、およびMoonshot目標6：スクラフルで強靱な統合的量子通信システムの3つの国家プロジェクトの支援の下で実施されている。



**(公財)ハイパーネットワーク社会研究所
理事長 村上 憲郎 氏**
京都大学で工学士号を取得。日立電子のミニコンピュータのエンジニアとしてキャリアをスタート後、米国 DEC 本社人工知能技術センターに5年勤務し、帰国後はDEC Japanのマーケティング担当取締役などを歴任。
その後Northern Telecom Japan社長兼最高経営責任者、Nortel Networks Japan社長兼最高経営責任者、Docent Japan社長を歴任し、2003年4月 Google 米国本社副社長兼 Google Japan 代表取締役社長として Google に入社以来、日本における Google の全業務の責任者を務める。2011年に退任し、現在まで村上憲郎事務所の代表として活躍中。2018年6月ハイパーネットワーク社会研究所の理事長に就任。2019年12月におおいたAIテクノロジーセンターを起ち上げ、センター長に就任。大分県内でのAI・GPU実証創出にも注力。東京国際工科専門職大学学長。



**OQC 株式会社
カンントリーマネージャー 杉野 敦 氏**
OQCで日本のカンントリーマネージャーを務める。日本および海外において30年以上の豊富なIT業界でのリーダーシップの経験を持つ。過去にはハイパフォーマンスコンピューティングとエンタープライズシステムの分野で国内外の多岐に渡る先進企業-伊藤忠商事、サンマイクロシステムズ、シリコングラフィックスインターナショナル(SGI)、ヒューレットパッカードエンタープライズ(HPE)、さらにはグローバルの大手フラクセルサマーカー、アドバンストマイクロデバイス(AMD)で活躍。横浜国立大学経済学部卒業。

**一般社団法人日本量子コンピューティング協会
事務局長 寺園 諒雅 氏**

**コーディネーター
(公財)ハイパーネットワーク社会研究所 所長 青木 栄二 氏**

セミナー終了後のアンケートはこちらから⇒

URL: <https://forms.gle/e9JQSKpahX2t9eq99>



〇お問い合わせ先 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 担当：田北、平野、三重野、相原、佐藤、有廣
〒870-0037 大分県大分市東春日町51-6大分第2ソフィアプラザビル4F
MAIL: info@hyper.or.jp TEL:097-537-8180 FAX:097-537-8802